

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 18 年 11 月 2 日 (2006.11.2)

【公開番号】特開 2005-115702 (P2005-115702A)
 【公開日】平成 17 年 4 月 28 日 (2005.4.28)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-017
 【出願番号】特願 2003-350062 (P2003-350062)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 17/21 (2006.01)

G 0 6 F 3/048 (2006.01)

G 0 6 F 17/30 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 17/21 5 3 0 K

G 0 6 F 3/00 6 5 6 A

G 0 6 F 17/30 3 8 0 A

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 9 月 19 日 (2006.9.19)
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数のページからなる文書のページの各々について、当該ページを構成する構成要素のレイアウトを表すレイアウト情報を取得し、当該ページにおいて各構成要素の占める領域間のレイアウト上の階層構造を表す構造データを生成する構造データ生成手段と、

注目ページと、ページの昇順または降順における該注目ページの 1 つ手前のページとの、前記階層構造の変化の度合いを表す変化量を算出する変化量算出手段と、

前記変化量算出手段により求められた変化量と予め定められた閾値とを比較し、該変化量が該閾値以上である場合に当該注目ページを表示する表示手段とを有する文書表示装置。

【請求項 2】

文書のレイアウト情報を内包した文書データまたは文書の画像を表す画像データを取得する文書取得手段と、

前記文書データからレイアウト情報を抽出する第 1 の取得手段と

前記画像データにより表される文書の画像を解析することによって該文書のレイアウト情報を取得する第 2 の取得手段とを有し、

前記構造データ生成手段は、前記文書取得手段により文書データが取得された場合には前記第 1 の取得手段を用いてレイアウト情報を取得する一方、前記文書取得手段により画像データが取得された場合には前記第 2 の取得手段を用いてレイアウト情報を取得することを特徴とする請求項 1 に記載の文書表示装置。

【請求項 3】

前記変化量算出手段により求められた変化量を当該注目ページと対応付けて記憶する変化量記憶手段を有し、

前記表示手段は、前記変化量記憶手段により記憶されている変化量が閾値以上であるページを抽出し、抽出されたページの画像をページの昇順または降順で表示する

ことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の文書表示装置。

【請求項 4】

コンピュータ装置を、

複数のページからなる文書のページの各々について、当該ページを構成する構成要素のレイアウトを表すレイアウト情報を取得し、当該ページにおいて各構成要素の占める領域間のレイアウト上の階層構造を表す構造データを生成する構造データ生成手段と、

注目ページと、ページの昇順または降順における該注目ページの 1 つ手前のページとの、前記階層構造の変化の度合いを表す変化量を算出する変化量算出手段と、

前記変化量算出手段により求められた変化量と予め定められた閾値とを比較し、該変化量が該閾値以上である場合に当該注目ページを表示する表示手段

として機能させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】文書表示装置およびプログラム

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】削除

【補正の内容】